

福岡教育大・北九州開催 <北九州ミニ焼きうどんラウンド> H28.12.16(Fri) 北九州市小倉北区市中**北九州ミニ焼きうどんラウンドが開催されました。**

(参加者: 小学校教職員5名、中学校教職員3名、指導主事3名、大学教員3名、大学院生8名、合計22名: その中で、広島から3名、大分から1名と遠方から多くの参加をいただきました。ありがとうございました。)

1 師走、年の瀬

当日は、小雨混じりの北風が吹く中、JR 西小倉駅前の、とあるお店の二階に会場を設けて、じっくり話したい人、人に尋ねて自分の疑問を解決する機会にしたい人が集まりました。佐藤先生が福岡教育大学で次の日から集中講義をする前日に、無理を言って立ち寄りてもらいました。師走、忘年会でごった返す町の中、熱心な議論がなされました。

2 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 スポーツ教育学科**教授 佐藤 豊 先生による話題提供**

日ごろ、授業実践の報告や行政の取り組みなどが多く報告される九州ネットですが、今回は、学習指導要領の動向が示される直前ということもあって、まずは、佐藤先生にどのように変わるのかを直球で聞いてみました。そこは、佐藤先生、すぐに結論や結果を聴きたがる私たちの問いにはすぐには答えられず、これから目指す体育で考える資質・能力の解説から入りました。これまでの体育の流れや体育を取り巻く周辺の状況(教育界・世界等)を含めての話でした。今一度、体育の今までを振り返ってから、これからの考えねばならないというスタンスに立ちました。また、その先を見通した実践事例として、神奈川県の高校の実践を紹介されました。また、直前に、沖縄で行われた九州学体研の授業が素晴らしかったことを紹介され、青木の方から(バレー・空手・保健)の映像とともにその内容が紹介されました。

**3 個人発表「これからの体育で指導すること」(注目していること、取り組んでみたいこと)**

これまで、多くの方がネットワークで、何か情報を得ようと、各地でいろいろな形で開催され集まってきました。回数を重ねて、主催者は、聞くことばかりはつまらない、体育について議論したい、ということで、参加者一人一人に宿題をお願いしました。A4 ワンペーパーを資料に、自分の考えを発表して、質問や議論がスタートしました。今回は、福岡教育大学との共同開催でしたので大学院生も多く参加し、これからの体育を担う人たちが主体的に話す場になったと思われます。発表だけでなく、参加した現場の先生や校長先生、指導主事も熱心な議論を重ねていました。

**4 海外の体育事情**

佐藤先生、本多先生、青木の方から、秋に研修視察したオハイオ州立大学やその周辺地域の小学校・中学校の視察の報告がありました。大学での体育科教員の育成の状況、現場の体育科教員の位置や立場、大学での教員養成と学校現場とのつながり、教員の育成の様子などが報告されました。日本の体育科教員の資質の高さや授業のレベルの高さを感じることや学習指導要領の主旨や内容の理解の浸透度なども話されました。また、健康や体力向上は、世界共通の課題で、春に訪問した台湾の取り組みも合わせて話が広がりました。単に運動技能ではなく、これからの体育の目指すもの垣間見られる内容でした。

**5 情報交換会**

情報交換会は、会場そのものでしたので、目の前の食事を食べながらの会となりました。前回の失敗を反省し、お店のおかみさんが自慢の焼きうどんを手作りでしめとして出してくれました。また、お土産のおやつとして、各自、「おはぎ」(ぼたもち)を持ち帰っていただきました。

**6 今回のしめ**

場外編、広島の方校長先生が、早い時期からの参加申し込みでしたが、急な行政対応のため、夜の11過ぎに新幹線から来ました。しばしそこから一部の方で、体育についてひとしきり語ることになりました。この会の参加だけでなく、そこで知り合った方々が、次の人を連れてこの会に参加し、あるいは相互の学校を訪問したり、実践を紹介してもらったりなどの刺激が開催の裏には広がっているこの頃です。(報告: 青木)

